



2007年11月29日

報道関係各位

楽天株式会社

「楽天市場」、台湾進出  
台湾統一超商股份有限公司と合弁事業を展開

楽天株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：三木谷 浩史、以下 楽天）は、台湾の統一超商股份有限公司（本社：台北市、総経理：徐 重仁、以下 統一超商）との間で、台湾にて合弁企業を設立し、楽天市場事業（マーケットプレイス型インターネットショッピングモール）を展開することで本日合弁契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

合弁企業は、名称を台湾楽天市場事業股份有限公司（以下 台湾楽天市場）とし、資本および資本準備金は約6億円（日本円換算）、出資比率は楽天51%に対し統一超商49%にて本年12月に会社を設立、2008年第2四半期中に台湾での楽天市場事業のサービス開始を目指します。台湾での事業は、日本における楽天市場事業のビジネスモデルと同様に、台湾内で出店店舗と会員を募集し、マーケットプレイス型のショッピングモールを展開する予定です。2008年第2四半期中のサービス開始以降、2年目には単年度黒字化、3年後には出店店舗約3,000店を目標にしています。また、将来は、日本と台湾との双方の「楽天市場」の間におけるシナジー効果創出に向けて、両楽天市場間での連携を目指してまいります。

楽天は、本年で10周年を迎え、世界一のインターネット企業を目指して、日本発のグローバルワイドなサービスの実現に向けて、本格的に海外進出の検討を進めてまいりました。一方、統一超商は、台湾においていち早く海外企業との合弁事業に積極的に取り組み、セブン・イレブン事業の展開をはじめとする小売流通業において30年の歴史を誇るNo.1企業であり、新たなビジネスパートナーを模索していました。楽天にとっては、初めてとなる楽天市場事業の海外展開として楽天経済圏を有力なマーケットである台湾で展開することが可能となり、統一超商にとっては、台湾No.1の流通小売業の地位をゆるぎないものとすべく強力なビジネスパートナーを獲得することで、両社にとってWin-Winの関係構築が可能なことから、今回の合弁契約の締結の運びとなりました。

台湾楽天市場は、そのユニークなビジネスモデルによって、台湾の小売業や中小企業、さらには地域経済をエンパワーメントするとともに、消費者の皆様幅広い商品を提供して楽しいお買い物をサポートすることを目指してまいります。

## 記

### 1. 合併企業の概要

- (1) 商号 台湾楽天市場股份有限公司
- (2) 設立年月日 平成19年12月を予定
- (3) 本店所在地 台北市
- (4) 資本金 約6億円(資本準備金含む)

### 2. 楽天の概要

- (1) 商号 楽天株式会社
- (2) 事業内容 総合インターネット・サービス
- (3) 設立年月日 平成9年2月7日
- (4) 本店所在地 東京都港区六本木6-10-1
- (5) 代表者 代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史
- (6) 事業年度の末日 12月31日
- (7) 資本金 107,423百万円(平成19年6月30日現在)
- (8) 従業員数 3,283人(平成19年6月30日現在、連結)

### 3. 統一超商の概要

- (1) 商号 統一超商股份有限公司
- (2) 事業内容 流通小売業(台湾最大の流通小売業者)
- (3) 設立年月日 1978年4月
- (4) 本店所在地 台北市東興路65號2樓
- (5) 代表者 総経理 徐 重仁
- (6) 資本金 9,151,604,360元

以上

<本件に関するお問い合わせ>

楽天株式会社 広報部

TEL 03(6387)1104

Mail:pr@rakuten.co.jp